



Media Release

リリース日: 2012年9月13日

ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスに ANZ が選定され、世界で最もサステナブル（持続可能）な銀行 としての評価を獲得しました

本日、2012年のダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスが発表され、オーストラリア・ニュージーランド銀行（ANZ : Australia and New Zealand Banking Group Limited）は、この6年間で5度目となる銀行部門トップに選定され、世界で最も「サステナブル（持続可能）」な銀行として評価を受けました。

これを受け、ANZ グループの最高経営責任者（CEO）マイク・スミスは、次のように述べています。「持続可能な社会に向けて貢献をする社員4万8千人の努力が、企業の持続可能性を測定する世界的な機関に評価をされたことを大変嬉しく思っています。」

「グループ内で、再生可能なエネルギーセクターへのファイナンスを充実させ、太平洋地域で金融サービスが十分に行き届いていない地域社会での金融リテラシーを向上させる活動を実施するなど、様々な活動を通じて、持続可能性の向上に向けて真剣に取り組んで参りました。我々は、社会の持続可能性のために、まだまだ取り組めることがあると思うと同時に、今回、これまでの我々の実績が評価されたことを大変嬉しく思います。」

今回、米国ダウジョーンズ社とスイスの社会的責任投資の格付評価会社であるSAM社による発表のレポートの中で「ANZは、その持続可能なビジネス手法、優れたリスク・危機管理体制、持続可能な投資商品への注力といった点が評価出来、銀行部門のトップに選定しました」と述べています。

「ダウジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（DJSI）」は、米国ダウジョーンズ社とスイスSAM社が共同で開発した株式指標で、社会的責任投資の世界的な株式指標として用いられています。企業活動を、経済、環境、社会的責任の側面から評価をし、世界の企業約2,500社の中から業種ごとに上位約10%の企業が毎年選定されています。選定にあたっての評価対象は、コーポレートガバナンス、リスクマネジメント、ブランドマネジメント、人事マネジメントといった点だけではなく、気候変動に対する取り組みや環境に対する取り組みも含まれています。2012年、世界の中の銀行の内193行が評価対象となり、26行がDJSIの構成銘柄に選定され、ANZは26行の内のトップにランクインしました。

ANZは、1969年に東京に駐在員事務所を設立、その後1985年に銀行業認可を受け東京支店を開設しました。1990年には大阪支店を、2010年には名古屋出張所をそれぞれ豪州系の銀行として初めて開設しました。ANZは日本において、個人のお客さまから、金融法人や大手事業法人のお客さままで、幅広いサービスを提供している唯一の豪州系銀行です。

メディアリリースの問合せ先（英語での受付になります）:

エミリー キンニアー

コーポレートコミュニケーションズ メディアリレーションズアドバイザー

Tel: +61-3-8654-3540

Email: Emily.Kinnear@anz.com